

令和元年度病害虫発生予察情報 特殊報第2号

令和元年11月13日
発表：福島県病害虫防除所

病害虫名 和名：コリアンダー褐斑病（仮称）※
学名：*Alternaria dauci* (Kühn) Groves&Skolko

1 発生経過

令和元年9月に、県南地方で栽培されていたコリアンダーにおいて、葉に円形で灰白色の病斑を生じる病害が確認された。病斑部には *Alternaria* 属の孢子が形成されており、接種試験を実施したところ病徴が再現された。そこで農林水産省横浜植物防疫所に同定を依頼したところ、*Alternaria dauci* によるコリアンダーの病害であることが判明した。

本病は平成28年に大分県で初めて確認され、コリアンダー褐斑病（仮称）として同年10月に特殊報が発表されている。

2 病徴

感染初期に黒色の小斑点を生じ、病斑は概ね5mm前後の大きさであるが、進展すると最大1cm程度となり、斑点の中心部は円形で灰白色になる傾向がある（写真1、2）。また、葉柄にも褐色でややくぼんだ病斑が形成される（写真3）。

3 病原菌の特徴と発生生態

病原菌は糸状菌の一種である。分生子は褐色～暗褐色の倒棍棒状で、無色～淡褐色の長い嘴部を形成し、末端が細くなる（写真4）。本病による病害は、国内ではニンジン（ニンジン黒葉枯病）、海外ではセルリーやパセリ、ガーベラ属、アキノノゲシ属で発生が報告されている。

本病は病斑上に形成された分生子が風雨や灌水によって飛散して伝染する。

4 防除対策

本病に対するほ場で使用できる登録薬剤はないため、以下の対策を実施する。

- （1）本種は種子伝染するため、消毒済みの種子を利用する。
- （2）罹病株を確認した場合、ほ場外に持ち出し、土中に埋没するなど適切に処分する。また、作付け終了後も罹病残渣がほ場内に残らないよう注意する。

※（仮称）について

新規病害を命名する場合、学会、研究会等で発表し、論文または講演要旨として掲載後に日本植物病理学会「日本有用植物病名委員会」に申請し、審査後に日本植物病理学会が編集・発行している日本植物病名目録に掲載されるまでは、正式に病名として認知されないため「仮称」とする。



写真1：罹病株の様子

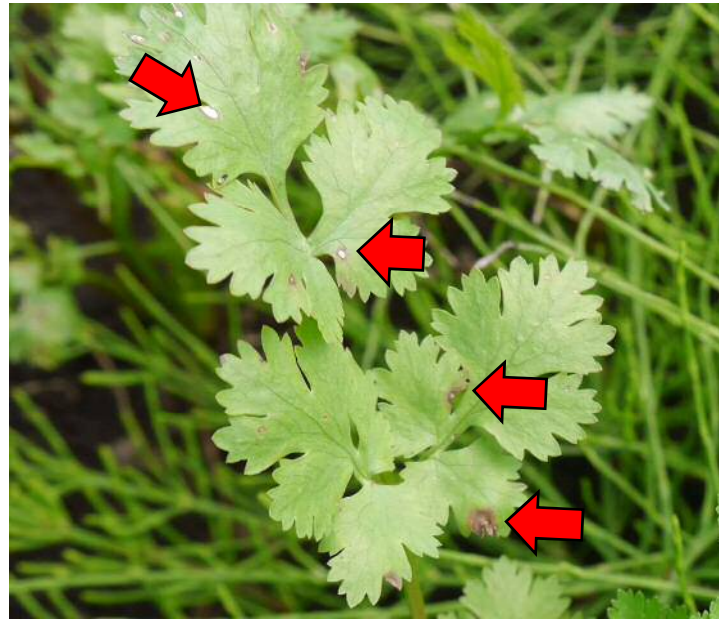


写真2：葉に形成された病斑

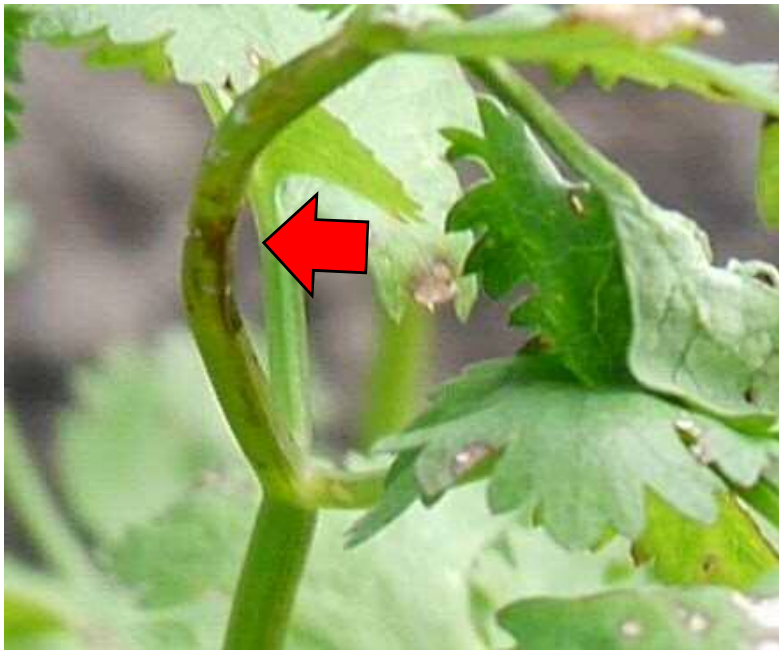


写真3：葉柄の病斑



写真4：病原菌の分生子

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部 部長 草野まで御連絡ください。
TEL 024-958-1707 FAX 024-958-1727